



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、幸多き新春を迎えられた事とお喜び申し上げます。

昨年、第 46 回衆院選で有権者は、極めて厳しい審判を下しました。この事は政治が国民の手にある事を再び証明いたしました。この様な中で、東日本の被災三県では、地域に雇用の場が少ない事もあり、人口流失が著しく、この厳しい冬を乗り越える光が求められています。日本全体の 1 日も早い景気の回復と被災地の復興を強く願うものです。今年も『市民が主役』のまちづくりに向け、初心忘れる事なく襟を正して皆様の負託に応えるべき、全力で頑張ります。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



市長提案理由説明

▼平成 24 年・第 4 回定例会は、平成 24 年 12 月 4 日～19 日迄の 16 日間の会期で開催されました。▼提案理由説明冒頭で市長は、課せられた使命の大きさと責任の重さを日々感じており、改めて身の引き締まる思いであると述べ、市民の幸せのため、ふるさと七尾の新たな発展に向け、全力を傾けて職務に邁進する所存であると所信を述べました。▼市政運営の基本方針では、住み慣れた七尾が一番とし、豊かな自然、先人から受け継いだ豊かな伝統文化や、里山・里海の中で営まれる慎ましやかで豊かな暮らしと誇りを、子ども達や次世代へと守り伝えていかなければいけないとし、「ふるさと七尾づくり6つの柱」を示しました。

1.「活力溢れる地域産業づくり」

- 産業振興プランを一時も早く策定し、既存産業の強みや特徴を引き出す。
- 企業誘致は規模にとらわれず、市内の産業と結びつく小さくてもきらりと光る企業誘致を目指す。
- 世界農業遺産認定を活かした農林水産業のブランド化や、6 次産業化など足腰の強い基盤づくりに努める。

2.「訪れたいくなるまちづくり」

- 間近に迫った「北陸新幹線の金沢開業」「能越自動車道七尾開通」「能登有料道路無料化」など、近くなる七尾を見据え、一層の地域資源の発掘と磨き上げに努め、七尾の魅力を全国に発信し交流人口の拡大を図る。

3.「安全・安心市民の暮らしを守る」

- 災害に強い地域づくりに向け、自主防災組織の設立や育成に努める。
- 地域防災計画に津波対策などしっかり位置づけ、防災・減災に万全を期す。
- 子育て、子育てをきめ細かに応援すると共に、老後を住み慣れた地域において生涯現役で豊かに過ごす事が出来るよう、地域で支え合う福祉ネットワークの形成に努める。

4.「産業、交流、市民生活を支える社会基盤づくり」

- 幹線道路、災害避難道路、七尾港などの社会基盤整備や圃場、漁港などの農林水産業基盤の整備を進める。

5.「未来を担う人づくり」

- 基礎学力をしっかり身につけ、人を思いやる心と、ふるさと七尾に誇りと愛着を持つ子供たちを育てる。
- 国際感覚あふれる人づくりのため、青少年の国際交流の推進や英語教育などの充実に努める。

6.「効率的で質の高い行政」

- 「市民が主役のまちづくり」を推進する為、現場力、即応力、総合力のある市役所とします。

今議会では、一般質問 15 名の議員が質問に立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な議論が交わされました。▼今議会の概ねについてご報告致します。



1. 一般会計補正予算額 28 億 7,433 万 7 千円 (対前年度 22 億 6,461 万 3 千円 371.4%増)

一般会計 12 月補正予算の推移	12 月補正予算額	12 月補正後予算額
■平成 24 年度	28 億 7,433 万 7 千円	345 億 7,196 万 6 千円
■平成 23 年度	6 億 972 万 4 千円	315 億 5,040 万 3 千円
■平成 22 年度	5 億 5,089 万 6 千円	311 億 2,528 万 2 千円



●平成 24 年度 12 月補正予算主要事業 主要施策の概要 (単位:千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
I.地域経営			
財政調整基金積立金	七尾鹿島ふるさと市町村振興整備事業基金出資金の返還分 旧七尾商業高等学校敷地売り払い分積立措置	1,067,285	企画財政課
繰上償還金	健全な財政運営に向けた退職手当債(資金手当)の繰り上げ償還	1,260,352	〃
ひとつづくり推進費	地域づくり専門員の増員(徳田地区・1名)	2,014	男女協働課
II.産業			
観光振興事務費	ふるさと祭り東京事業に係る事業負担金	1,500	観光交流課
中山間地域活性化	集落営農組織設立等の支援(集落ぐるみでの農地や景観の維持・保全)	800	農林水産課
県営圃場整備	新規に向けての計画調査(池崎・満仁地区、町屋・鳥越地区)	500	
	上町浜田地区圃場整備事業費(事業負担金の増額)	30,000	
基盤整備促進事業	農業体質強化基盤整備促進事業(暗渠排水、区画拡大)直津地区	19,900	
	大津地区基盤整備促進事業費(揚水機整備工事)	4,505	
	笠師地区基盤整備促進事業費(用頭首工整備事業)	11,871	
市単土地改良事業費	塩津地区、殿地区(排水ポンプ修繕、排水路修繕)	2,600	
カキ殻利活用施設	七尾西湾カキ生産者が行うカキ殻利活用施設建設補助金増額	80,000	
III.教育			
教育振興基金積立金	教育振興に係る寄付金を積立するもの	30,000	子ども教育
ガラス美術館管理費	能登島ガラス美術館の施設管理経費の増額	2,721	文化課
文化財保護施設費	文化財資料展示館及び旧商業高校校舎売却に伴う移転費	3,320	
IV.健康・福祉・医療			
保育所費	所管外区域保育委託費の実績見込み増額	13,540	子育て支援
障害者福祉費	自立支援事業(障害者介護給付費、障害者訓練等給付費)	66,944	福祉課
V.生活環境・都市基盤			
地域活力交付金	矢田郷 81 号線道路改良(歩道設置 L=560m W=6.0m)	60,000	土木課
	橋梁修繕事業(藤橋大橋、桜川大橋)	3,000	
消防団活動施設	第 3 消防団西岸分団所の移転に係る経費(測量、土地購入、建物補償)	5,798	環境安全課
防災関連機器移設	防災行政無線衛星系機器、県防災情報システム機器、原子力防災ネットワーク、	4,000	
津波対策事業費	地域住民自らが避難経路及び避難地の整備を行う事への助成	300	
地球温暖化対策費	太陽光発電システム設置助成費増額(補助率 5 万円/1kw)	2,000	

2. 特別会計補正予算額 1億420万2千円 (対前年度 △1億9,652万円 65.3%減)

特別会計 12月補正予算の推移	12月補正予算額	12月補正後予算額	会計数
■平成24年度	1億420万2千円	191億8,733万6千円	9
■平成23年度	3億72万2千円	182億8,419万6千円	11
■平成22年度	1億2,257万1千円	173億4,629万9千円	12



●平成24年度 特別会計 12月補正予算主要内容

(千円)

特別会計項目	補正予算額	主な内容	担当課
ケーブルテレビ事業	△6,815	移設工事費の増額、人事異動等に伴う人件費	広報広聴課
国民健康保険	119,150	保険給付費の増額、人事異動等に伴う人件費	保険課
介護保険	△2,647	システム改修経費等の増額、人事異動人件費	〃
簡易水道事業	△854	人事異動等に伴う人件費	料金業務課
下水道事業	1,267	和倉1号污水管修繕工事増額、人事異動人件費	〃
公設地方卸売市場事業	△5,899	人事異動等に伴う人件費	農林水産課
計	104,202		

【議会質問】

今回の私の議会質問は「市長の政治姿勢」「市長マニフェストの実現」「七尾市総合計画」「平成25年度当初予算編成」「世界農業遺産国際会議」「寺町サミット開催」「健康マイレージの導入」7点29項目について質問しました。

■ハッピーリタイアメント構想について



質問・市長マニフェストの中の、ハッピーリタイアメント構想について

- 1.七尾版・ハッピーリタイアメント構想とはどういったものか？
- 2.経済の波及効果をどう考えるのか？

市長答弁・1.元気なシニア世代が都市圏の現状を退いた後、第2の人生を七尾で住んでいただく取り組みです。七尾市は先の経済雑誌で、高齢者が住み良い街で全国4位に位置づけられた。市内2つの病院を有する医療体制や充実した介護福祉施設が在る事が評価され、単なる田舎暮らしではなく生活する上で安全安心と利便性がコンパクトにまとまった街が強みと考えている。加えて豊かな自然や四季折々の旬の味覚を味わいながら生活できる。

2.【メリット】①定住人口の確保による域内消費による拡大。②人的なつながりによる交流人口の拡大。③経験やノウハウによる地域産業への活用波及効果。④空き家対策にもつながる事を期待。

【デメリット】①病気などで年が行くにつれ、年金だけでは生活が難しくなる事で、雇用の場も必要となって来る。その雇用の場の確保が出来るのか。②医療費や介護福祉に対する市の財政負担が嵩む事が心配。

■世界農業遺産国際会議について



質問・この国際会議は来年5月末に能登地区で開催する事が決まっている。

この国際会議を七尾会場として位置付けられないか？ 会議に向けての進捗状況はどうか？

市長答弁・県が窓口となり、来年5月下旬に能登で開催されることが決定している。具体的な日程や開催場所を含めた詳細については調整中である。年明けには開催実行委員会を立ち上げ、会議全体の企画実施について進める事になっている。

七尾市での開催はもっともだと考えており、七尾市を中心に開かれるように実現できる様に県に働き掛けていく。

七尾市議会 第2回議会報告会

七尾市議会 第2回議会報告会 開催

■七尾市議会では「議会基本条例」の制定に伴い、議会報告会の開催に取り組んでいます。

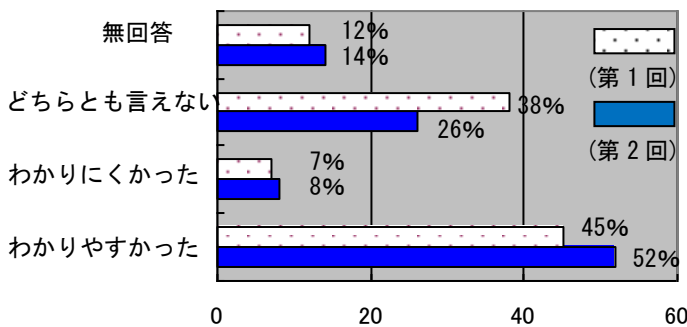
開催日	開催場所	参加者数
11月12日	中島市民センター	12
	能登島市民センター	17
11月13日	徳田公民館	15
	北大呑公民館	14
11月20日	フォーラム七尾	18
	石崎公民館	7
11月21日	七尾サンライフプラザ	19
	サンビーム日和ヶ丘	8
合計		110人

参加者数(人)	
第1回	208
第2回	110
延べ人数	318

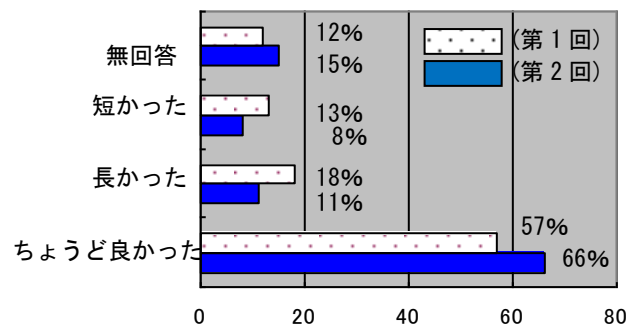


■議会報告会の終了後にアンケート調査を行いました。

▼報告内容はどうでしたか？ (%)



▼報告会の時間はどうでしたか？ (%)



■意見・感想や提案(議会だより等で掲載すると共に、市政に対する意見提言で重要なものは市長に通知します)

▼報告会場での主な質問。

- ・定住人口促進を図る報告が触れられていない残念。
- ・企業誘致のため市の職員を東京に貼り付けにせよ。
- ・ケーブルテレビの加入率を上げる努力はしているのか。
- ・報告会は何人でも開くのか。今後も続けるのか。
- ・サッカーグラウンドを多目的に使えないのか。
- ・七尾線存続について議会としてどうか。
- ・下水道の接続で一人世帯に対する配慮はされているか
- ・自主防災組織運営に伴う条例を弾力的に見直せ。
- ・北嶺中の跡地利用や有機小管理は誰がやるのだ。
- ・広域圏解散に伴うデメリットや運営は大丈夫なのか。
- ・議員数が多い話が出ているが議員の想いを聞かせよ。
- ・資料の中で100億程計算が違うがどうなっている。
- ・ゴミ袋で七尾市と中能登町ではなぜ値段が違うのか。
- ・緊急防災告知システムは耳の聞こえない人や遠い人には聞こえない。議会はしっかり対応せよ。

▼アンケート調査での意見

- ・議題を1点に絞り民間専門業者も入れ質疑応答。
- ・質疑応答の時間を増やしてほしい。参加者が少ない。
- ・地域密着でお願いしたい。市民憲章の唱和をすべき。
- ・とても前向きな取り組みだ。議会全体で行う意義があると思う。市民の意識向上にもつながる。
- ・いろんな質疑応答があって良かった。支援者だけではなく市民が声を伝えられて良い。
- ・今後も続けてほしい議員の生の声が聞けるのは良い
- ・諸問題に対する具体策を話してほしい。
- ・このような機会がもっとあればよい。
- ・開催が増えれば要望が強くなるだけに思う。
- ・議員報酬は日当制が良い。時間帯が良くない。
- ・チェック機能が後手に回っている気がする。
- ・委員会における議論内容をもっと詳細に説明せよ。
- ・ケーブルテレビに字幕をつけてほしい。

